

巳年

令和七年

謹んで新年の

ているところであり、スポーツ面では、メジャーリーグの大谷翔平選手が、その類まれな才能と努力で、世界の野球ファンを魅了し、二刀流という挑戦は、野球の常識を覆し、新たな可能性を切り開き、昨年は、肘の手術から打者専任となり前人未到のシーズン五十本塁打・五十盗塁という驚異的な記録を達成し、最終的には五十四本塁打・五十九盗塁を記録。この偉業は、長年破られることのなかった記録であり、大谷選手の才能の高さ、そして野球に対する情熱の深さを物語っており、日本の子どもたちに夢と希望を与え、日本人として誇りに思うと共に大きな励みとなりました。

町内の出来事を振り返りますと、昨年は台風や大雨などによる大きな自然災害もなく平穏な年でありましたが、能登半島地震を教訓に厳寒期の防寒対策や備蓄品の見直しに取り組む必要があると再認識したところがございます。

農業においては、水稲は「やや良」となったほか、特産のサヤエンドウの販売額が令和四年以来二年ぶりに一億円を超え、他の作物も例年と比較して良好な販売状況となりました。

一方漁業は、漁獲量及び水揚げ額ともに依然として低迷から抜け出せない状況が続いております。今年こそは豊漁となることを期待しているところであります。

また、昨年の本町が実施した主な事業では、物価高騰で町民生活が疲弊する中、今後三十度を超える猛暑が続くことを見込み、エアコンが欠かせなくなっていると判断したことから、町内全世帯を対象に、エアコンの設置費用の一部を助成しました。

加えて、近年、少子化が進み墓の継承に悩む人が増えていることや、経済的な事情からお墓を持ってない方、若い世代が都市部へ移住してしまうといった要因で、墓の維持管理が難しくなった家族が町内でも増えているため、町民から合葬墓の整備を求める声が上がっていたことから、昨年十月に町葬斎場の隣に合葬墓を整備し、すでに活用されているところでございます。

引き続き町民の皆様が必要とするような事業を展開して参りますので、町民皆様のご協力を賜りたいと存じます。

今年、乙巳（きのとみ）年であります。

歴史的には乙巳年に大きなできごとがありました。

飛鳥時代六百四十五年の乙巳

の変（いつしのへん）は、中大兄皇子（なかのおおえのおうじ・のちの天智天皇）や中臣鎌足（なかとみのかまたり）らが蘇我入鹿（そがのいるか）を宮中にて暗殺して蘇我氏を滅ぼした政変の年であります。

その後、中大兄皇子は体制を刷新し「大化の改新」と呼ばれる天皇家中心の政治を復活させ、日本に独自の元号を定めるなど、多くの改革が行われました。

また、千八百八十五年には、壇ノ浦の戦いで平家が滅亡し、平安時代が終焉に向かい鎌倉時代へと移る変革の年でもあります。

本町においても、これまでの努力や準備が実を結ぶ変革の年となるよう停滞することなく様々な困難に立ち向かい「みんなで作る誇れるふるさと上ノ国」実現のため、町民皆様には、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

ともに、令和七年この新しい年が明るい話題で満ちあふれ、町民皆様一人ひとりにとって実り多い素晴らしい年であり、心よりお祈り申し上げます。

新年のご挨拶いたします。

令和七年元旦

